

基礎配筋検査

| | | |
|--------|------------|-----|
| 実施日 | 2020-09-10 | |
| 登録物件名 | 〇〇様邸 | 002 |
| 事業者名 | 会社〇〇 | |
| 事業者立合者 | 近藤 卓也 | |
| 報告者 | 近藤 卓也 | |
| 総合判定 | 適合 | |

【凡例】「方法」欄 A:目視確認 B:計測確認 C:書類確認（設計図書含む）

「判定」欄 ○:適 ×:不適 ー:該当なし（登録設計図書に記載がない場合を含む） 保留:判定保留

※目視・計測可能な部位で抽出確認し、保険の適否を判定します。

1.書類

| No. | 項目 | 基準値 | 実測値 | 方法 | 判断 |
|-----|--------------|-----|-----|----|----|
| 1-1 | 基礎配筋検査用の必要書類 | | | C | ○ |

【備考】 1-1.基礎伏図・基礎断面図

2.基礎 配筋

| No. | 項目 | 基準値 | 実測値 | 方法 | 判断 |
|-----|---|-------|-------|----|----|
| 2-1 | 床下防湿措置 防湿フィルムに破れはないか | | | A | ○ |
| 2-2 | ベタ基礎、鉄筋経、配筋間隔の確認（基礎伏図） | | | A | ○ |
| 2-3 | 出隅 入隅 人通口の補強筋の定着長さ40 d 以上か | 40d | 40d | B | ○ |
| 2-4 | 底盤鉄筋サイコロ（スペンサーブロック）をいかり厚さ60mm以上か | 60mm | 60mm | B | ○ |
| 2-5 | サイコロ（スペンサーブロック）間隔が縦横1m以内か | 100cm | 100cm | B | ○ |
| 2-6 | 基礎立上り部分の鉄筋かぶり厚は40mm以上か、土に接する部分のかぶり厚は60mm以上か | | | B | ○ |
| 2-7 | ベース筋の継手は同列に並ばないようにする。隣り合う継手位置に注意する | | | B | ○ |
| 2-8 | 鉄筋の継手の定着は40d以上か（520mmか） | | | B | ○ |

| | | | | | |
|------|--|--|--|---|---|
| 2-9 | 捨てコンとの間だけでなく、斜め筋とシートまでのかぶり厚がとれているか注意する | | | A | ○ |
| 2-10 | 対角寸法は図面の±10mm誤差以内か | | | B | ○ |

【備考】

3.配管スリーブ

| No. | 項目 | 基準値 | 実測値 | 方法 | 判断 |
|-----|------------------------------|------|------|----|----|
| 3-1 | スリーブ配管周辺の補強筋の定着長さが40 d 以上あるか | 40d | 40d | B | ○ |
| 3-2 | 配管周囲の鉄筋との間隔30mm以上確保しているか | 30mm | 30mm | B | ○ |

【備考】

特記事項

| |
|--|
| |
|--|

| | |
|--|---|
| 2-1 床下防湿措置 防湿フィルムに破れはないか | 備考 |
|  | <p>チェックポイント</p> <p>□□・床下防湿措置 防湿フィルムに破れはないか、床下全体を必ず確認を行う□□</p> |

| | |
|---|--|
| 2-2 ベタ基礎、鉄筋経、配筋間隔の確認 (基礎伏図) | 備考 |
|  | <p>チェックポイント</p> <p>□□・基礎伏図を確認して、鉄筋経、配筋間隔を計測して確認を行う</p> |

2-3 出隅 入隅 人通口の補強筋の定着長さ40 d 以上か(1/2)

備考



チェックポイント
□□・ 出隅 入隅 人通口の補強筋の定着長さ40 d 以上か、確実に確認する

基準値
40 d 以上
実測値
40 d

2-3 出隅 入隅 人通口の補強筋の定着長さ40 d 以上か(2/2)

備考



チェックポイント
□□・ 出隅 入隅 人通口の補強筋の定着長さ40 d 以上か、確実に確認する

基準値
40 d 以上
実測値
40 d

2-4 底盤鉄筋サイコロ（スペンサーブロック） を使いかぶり厚さ60mm以上か

備考

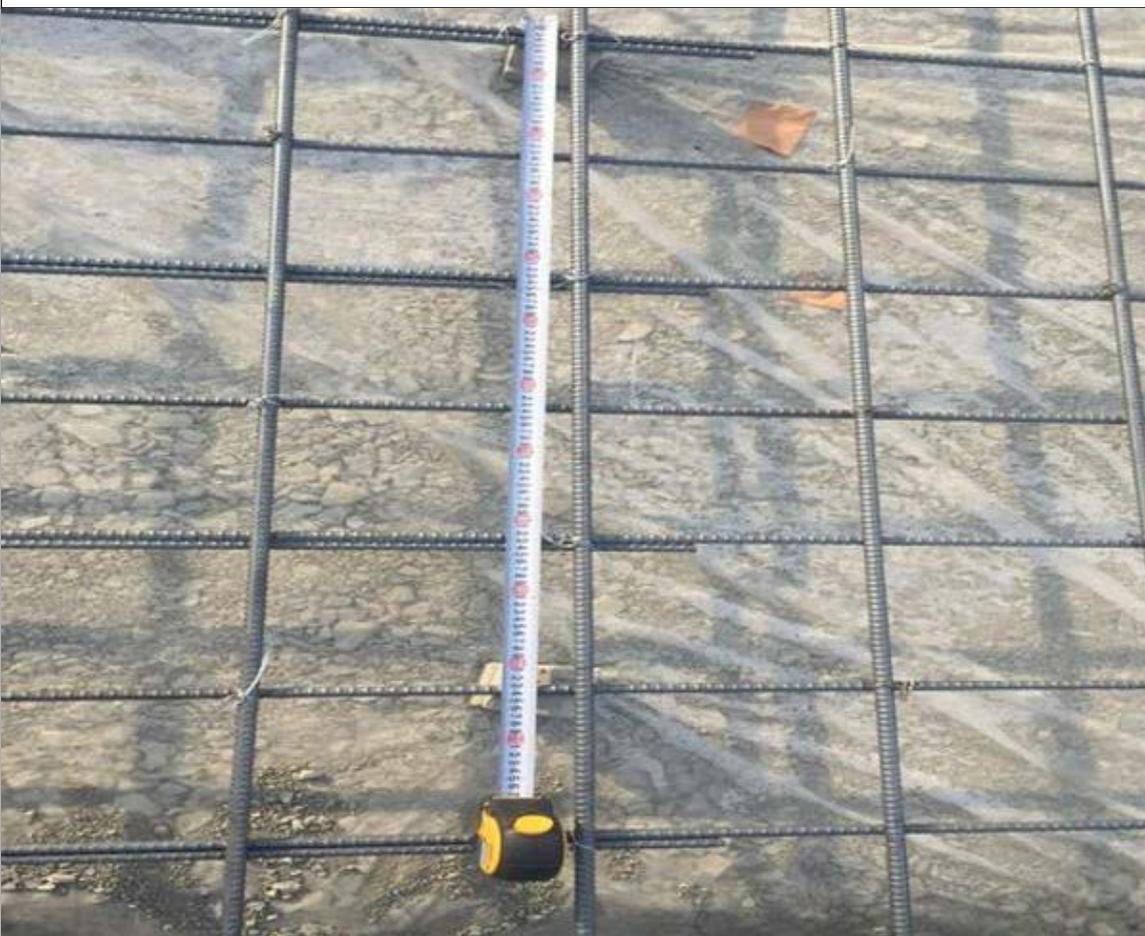


チェックポイント
□□・スペンサー
ブロックが適切に
配置され、かぶり
厚60mm以上確
保されているか、
全箇所を確認する

基準値
60mm以上
実測値
60mm

2-5 サイコロ（スペンサーブロック） 間隔が縦横1m以内か

備考



チェックポイント
□□・スペンサー
ブロックの配置が
正確か確認して、
間隔が縦横1m以
内か計測して確認
を行う

基準値
縦横1m以内
実測値
1m

2-6 基礎立上り部分の鉄筋かぶり厚は40mm以上か、土に接する部分のかぶり厚は60mm以上か(1/2)

備考



チェックポイント
□□・基礎立上り部分の鉄筋かぶり厚は40mm以上か、土に接する部分のかぶり厚は60mm以上か、スケールを用いて確認を行う

2-6 基礎立上り部分の鉄筋かぶり厚は40mm以上か、土に接する部分のかぶり厚は60mm以上か(2/2)

備考



チェックポイント
□□・基礎立上り部分の鉄筋かぶり厚は40mm以上か、土に接する部分のかぶり厚は60mm以上か、スケールを用いて確認を行う

| | |
|---|---|
| <p>2-7 ベース筋の継手は同列に並ばないようにする。隣り合う継手位置に注意する</p>  | <p>備考</p> <p>チェックポイント</p> <p>□□・ベース筋の継手は同列に並ばないようにする。</p> <p>隣り合う継手位置に注意する</p> |
| <p>2-8 鉄筋の継手の定着は40d以上か（520mmか）</p>  | <p>備考</p> <p>チェックポイント</p> <p>□□・鉄筋の継手の定着は40d以上か（520mmか）確実に確認を行う</p> <p>基準値 40d以上 実測値 40 d</p> |

2-9 捨てコンとの間だけでなく、斜め筋とシートまでのかぶり厚がとれているか
注意する

備考



チェックポイント
□□・捨てコンとの間だけでなく、斜め筋とシートまでのかぶり厚がとれているか注意する

2-10 対角寸法は図面の±10mm誤差以内か(1/2)

備考



チェックポイント
□□・対角寸法は図面の±10mm誤差以内か、図面を確認して計測を行う

基準値
±10mm
実測値
+5mm

2-10 対角寸法は図面の±10mm誤差以内か(2/2)

備考



チェックポイント
□□・対角寸法は
図面の±10mm誤
差以内か、図面を
確認して計測を行
う

基準値
±10mm
実測値
+5mm

3-1 スリーブ配管周辺の補強筋の定着長さが40 d 以上あるか

備考

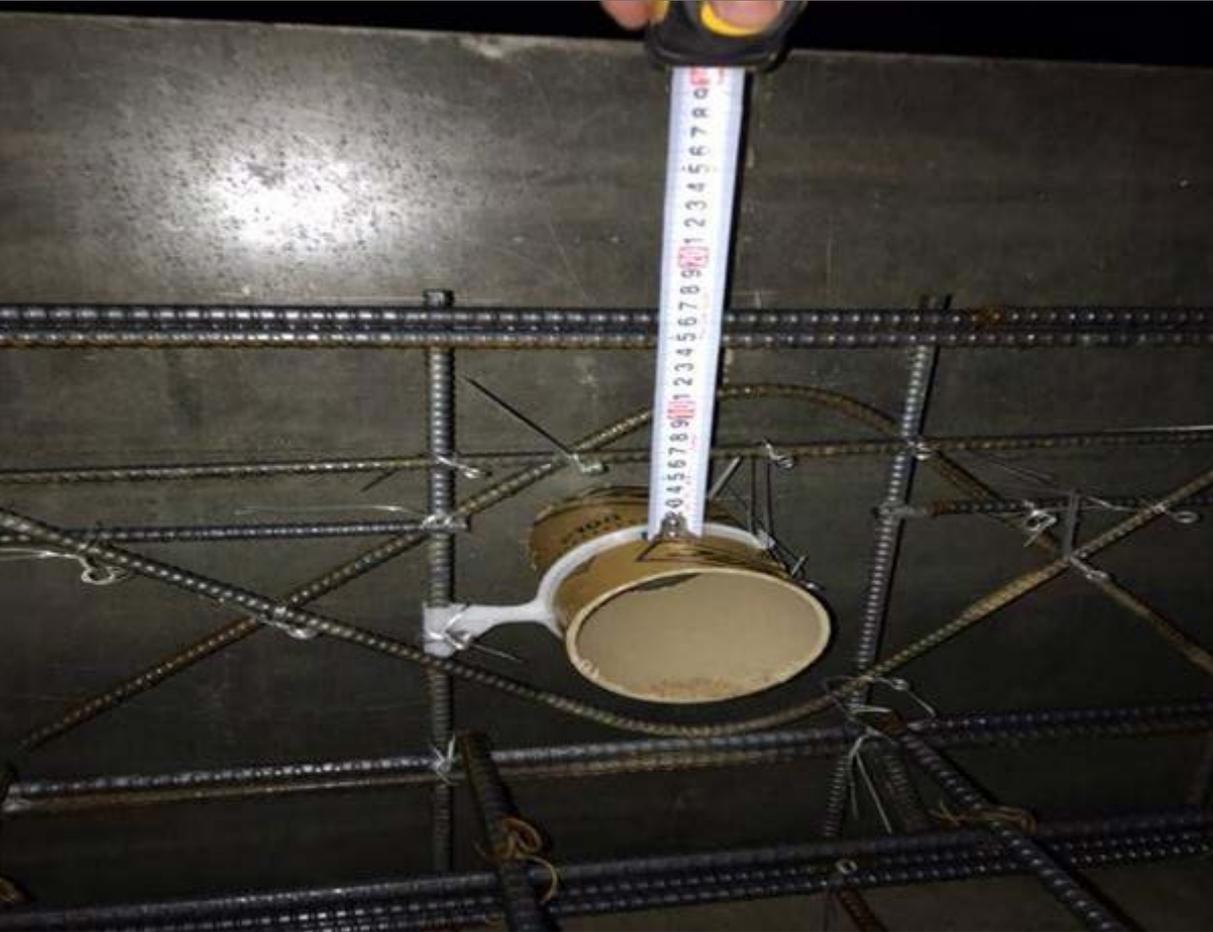


チェックポイント
□□・スリーブ配
管周辺の補強筋の
定着長さが40 d
以上あるか、スケ
ールを用いて計測
する

基準値
40 d 以上
実測値
40 d

3-2 配管周囲の鉄筋との間隔30mm以上確保しているか

備考



チェックポイント
□□・配管周囲
の鉄筋との間隔3
0mm以上確保して
いるか、確実に4
方向を確認する

基準値
30mm以上
実測値
30mm